

FIX NEO Premium
3000DX SWRII FS

Fisheye

目次

<安全にお使いいただくために>	3
<特長・仕様>	5
<各部名称>	6
<使用方法>	
●付属パーツの取付	7
●バッテリー装填手順	7
●充電方法	8
●操作方法	10
●ストロボ自動消灯モード	11
●高温時保護モード	12
●セーフティモード	12
●仕様変更について	13
<メンテナンス>	
●Oリングのメンテナンス	14
●浸水テスト	14
●使用後のメンテナンス	15
●もしも浸水した場合	15
●オーバーホール	15

*取扱説明書について

- 本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容について、誤記、記載漏れ、印刷ミス、不明な点などがありましたら、弊社もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
- 本書の一部もしくは全部をいかなる方法でも、個人利用を除いて、無断で複写・複製することはできません。

安全にお使いいただくために

- この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 誤った使い方をされますと、故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
- ご使用の際にはこの説明書に従い必ず点検、テストを行ってください。
- 分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関する補償は致しかねます。

安全上の注意

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 危険** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
- 警告** 取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- 注意** 取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

- バッテリー接点部同士を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
- 本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。
- ナイトダイビングや洞窟など暗い水中でのご使用時には、必ず予備のライトをお持ちください。バッテリー切れなど、万一何らかのトラブルが起きた際、パニックにつながる原因になります。

警告

- 本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
- ライト本体にバッテリーを入れたまま保管しないでください。ガスや液の発生によって、人体に影響を及ぼす危険があります。
- 本製品をご自分の目や他の人の目に向けて照射しないでください。失明や視力障害など重大な障害を引き起こすおそれがあります。
- 本製品の発光部を床やテーブルに伏せた状態で点灯させないでください。また、燃えやすいものの近くで点灯させないでください。火災の原因となるおそれがあります。
- 必ず専用のバッテリーとチャージャーをご使用ください。他の製品を使用すると本製品を破損させたり、ガスが発生して危険な状態になったりする場合があります。
- 濡れた手でバッテリーやチャージャーを触ると感電する危険性があります。バッテリーは十分に乾いた手で取り扱ってください。

注意

- 本製品は 100 mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、それより浅い深度においても衝撃や圧迫を加えやすくと破損したり、浸水したりするおそれがあります。
- 浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書を良くお読みになり、ご使用前後に必ず点検とメンテナンスを実施してください。
- 気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。
- 砂や塵、ほこりなどが多い場所でライト本体を開閉すると、防水部分に異物が付着し、防水性能が損なわれることがあります。
- 飛行機で移動する場合は、本体のOリングを外しておくことをおすすめします。気圧の影響でライトヘッドの取り外しができなくなったり、またその状態で無理に取り外そうとすることで製品を破損してしまうおそれがあります。
- 本製品より異音や異臭がする場合や煙が出たりする場合は、バッテリーを取り外し、お求めになった販売店にて修理をご依頼ください。
- 万一、浸水が発生した場合、速やかに電源を切り、バッテリーを取り外してください。濡れているバッテリーに直接触れると感電の危険性がありますので取扱には十分ご注意ください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。
- 万一、浸水が発生した場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。ライト本体を開ける際、水が噴き出したり、ライト本体が跳ねたりすることがありますので、十分ご注意ください。

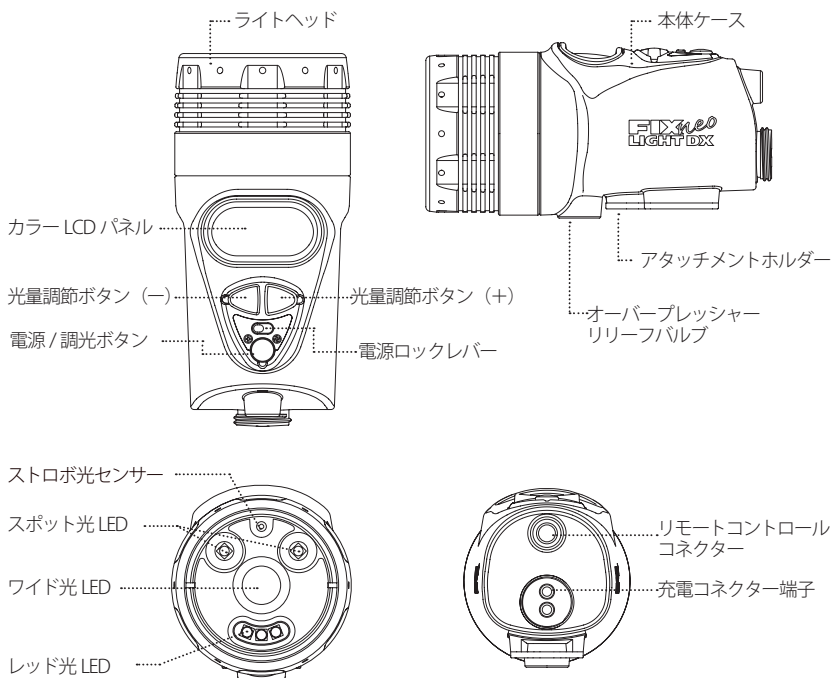
特長・仕様

- ワイド光、スポット光、レッド光の切り替えが可能
- 高演色 Ra95 と色温度 5700K の LED を採用した美しい色再現
- 露出ムラや色かぶりを防止するストロボ光自動消灯モードを搭載
- 電源ボタンの操作のみで 4 段階の光量調節が可能
- 光量調節ボタンにより 100 ステップの微調節も可能
- 着脱式のコンパクトなバッテリーを採用。航空機内への持ち込み可
- 見やすいカラー LCD パネルに操作情報を表示
- オーバープレッシャーリリーフバルブ装備
- 高温時、内部基板を保護する高温時保護モードを搭載
- 万一の浸水でも電子基板まで水が到達しにくい保護構造
- 点滅シグナルモードを搭載
- 電源 OFF 時の光量設定を記憶するデフォルト機能
- 緊急用の残電量をセーブするセーフティモードを搭載
- リモートコントロール対応 (オプション)

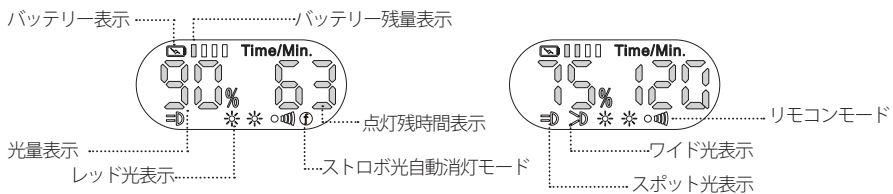
製品名	FIX NEO Premium 3000DX SWRII FS
最大光量	3000 ルーメン (ワイド) / 500 ルーメン (スポット) / 250 ルーメン (レッド)
水中照射角	100 度 (ワイド) / 30 度 (スポット) / 100 度 (レッド)
色温度	5700K (ワイド) / 6000 ~ 6500K (スポット)
演色性	Ra95 (ワイド)
最大光量時連続点灯時間 *	50 分 (ワイド) / 360 分 (スポット) / 450 分 (レッド)
陸上点灯可否	不可
充電時間	2.5 時間
付属バッテリー容量	3400mAh
本体材質	耐腐食アルミ合金、強化樹脂
耐圧水深	100m
サイズ	φ 58 x L132mm
陸上重量	380g
水中重量	130g
ライトヘッドカラー	ステルスブラック / フロストシルバー
付属品	Li-ion バッテリー 3400L、NEO チャージャー、リアチャージプラグ II、リアチャージキャップ II、NEO ガングリップ、NEO YS ベース、ウルトラアダプター、GoPro アダプター、Loc-Line アダプター、リストランヤード、スペア O リング、O リングリムーバー、O リンググリス、六角レンチ、固定ネジ

* 約 10 分間のセーフティモードを除く

各部名称



LCD パネル表示



- 光量表示 点灯中の光量を 1% 刻みで表示します
- バッテリー残量表示 残電量を 4 段階のバーで表示します
- 点灯残時間表示 点灯可能時間をリアルタイムで表示します

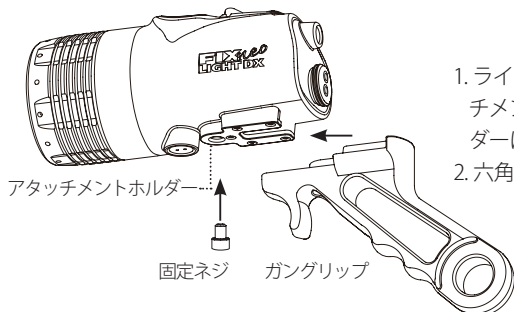


注意

リアルタイムで表示される点灯残時間は、残電量と光量により自動算出される理論値です。この数値は、バッテリーのコンディションや周囲の水温などの使用環境により、実際の点灯可能時間とは誤差が生じる場合があります。

使用方法

付属パーツの取付



1. ライト本体後方より、用途に合わせたアタッチメントをスライドさせてアタッチメントホルダーに差し込みます。
2. 六角レンチで固定ネジを締め込み固定します。



ウルトラアダプター



YS ベース



GoPro アダプター

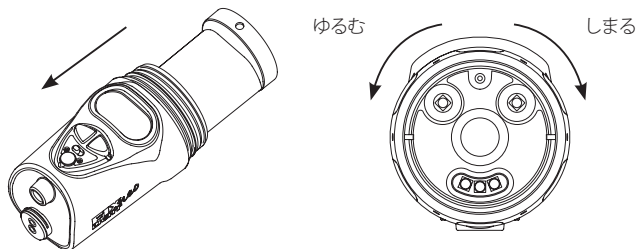


Loc-Line アダプター

NOTE 各アタッチメントにはリストランヤードが取り付けられます。

バッテリー装着手順

1. 本体ケースをしっかりと持ち、ライトヘッドを反時計回りに回して取り外します。
 2. バッテリーの金属端子部に汚れ、水滴などが付着していないか確認します。
 3. 本体ケースにバッテリーを装填します。
 4. 本体ケースをしっかりと持ち、ライトヘッドを時計回りに回して取り付けます。
- ※バッテリーの取外しは逆の手順で行います。

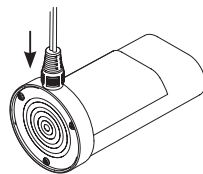


- ⚠ 警告** ●濡れた手や、濡れた環境での作業は感電や破損のおそれがありますので、絶対におやめください。
- ⚠ 注意** ●ライトヘッドを閉める前には、必ずOリングやOリング溝、Oリング接触面にゴミや砂などの付着がないことを確認し、Oリングのグリスアップを実施してください。
●バッテリーを取り出す際、落下にご注意ください。バッテリーの破損だけでなく、ケガなどにつながるおそれがあります。

■ 充電方法

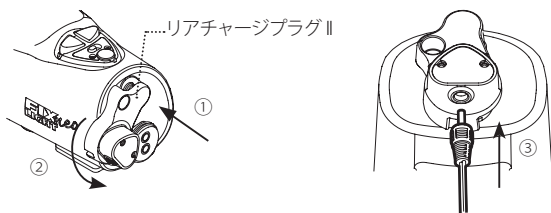
(1) バッテリーに充電

1. バッテリーをライト本体から取り出します。
2. チャージャーの AC プラグを電源コンセントに差し込みます。
3. この時、チャージャーの LED が緑色に点灯することを確認してください。
4. チャージャーのコネクターをバッテリーに差し込みます。
5. チャージャーの LED 点灯が赤色に切り替わったことを確認してください。
6. 充電が完了すると、チャージャーの LED 点灯は緑色に切り替わります。(最大 2.5 時間)
7. チャージャーのコネクターをバッテリーから取り外します。



(2) バッテリーをライト本体に装填したまま充電

1. ライト本体のリモートコントロールコネクターにリアチャージプラグⅡを挿入します。①
2. リアチャージプラグⅡを反時計回りに「カチッ」というまでスライドさせます。②
3. チャージャーの AC プラグを電源コンセントに差し込み、チャージャーの LED 点灯が緑色に点灯することを確認してください。
4. チャージャーのコネクターをリアチャージプラグⅡに差し込みます。③
5. チャージャーの LED が赤色に切り替わったことを確認してください。
6. 充電が完了すると、チャージャーの LED 点灯は緑色に切り替わります。(最大 2.5 時間)
7. チャージャーのコネクターをリアチャージプラグⅡから取り外し、リアチャージプラグⅡをライト本体から取り外します。

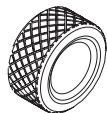


NOTE バッテリーが満充電の場合、チャージャーに接続しても LED 点灯は緑色のまま変わりません。

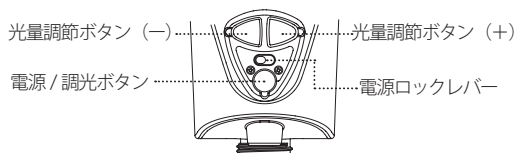
- ⚠ 危険**
- 充電中はバッテリーやチャージャーが熱を持つことがありますので、絶対に紙や絨毯など燃えやすい物の上で充電しないでください。
 - ケーブルを束ねた状態で充電すると、発熱により発火の原因となるおそれがありますので、絶対におやめください。
 - 濡れた手、濡れた環境での充電は、感電するおそれがありますので、絶対におやめください。
 - 水没した、あるいは水没しているおそれのあるバッテリーを絶対に充電しないでください。

- ⚠ 警告**
- 充電を開始する前に、必ず充電コネクター端子部に汚れや水滴が付着していないか確認してください。もし汚れや水滴が付着していた場合は十分に清掃してください。製品の故障だけではなく、感電の危険性があります。
 - ライトヘッドを下向きに置いて充電する場合は、ライトが点灯していないことを確認してください。
 - 充電が完了したら速やかにリアチャージプラグⅡを外してください。コンセントに差したまま放置すると、アダプターがショートし、発火の原因となるおそれがあります。
 - リアチャージプラグⅡをライト本体に接続したまま水中で使用しないでください。リアチャージプラグⅡは防水仕様ではありません。
 - チャージャーはマルチボルト (100-240V) 対応ですが、自家発電のリゾートやクルーズ船など不安定な給電での使用は、異常な高電圧によりチャージャーを破損させてしまうおそれがあります。安全回路内蔵の変圧器を併用されることをおすすめします。

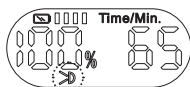
- ⚠ 注意**
- 振動や衝撃、落下などで充電コネクターからプラグが外れることがないように、安定した場所で充電してください。
 - 充電コネクターを差したままの状態では放置すると、過放電状態となり充電ができなくなることがあります。
 - ライト本体の充電コネクター端子は、防水機能を備えていますが、使用後に海水が残ってしまうと腐食の原因となります。
 - 付属のリアチャージキャップⅡは、充電コネクター端子部を保護・防水します。充電コネクター端子部に海水が及ばないよう、ダイビング中はリアチャージキャップⅡの装着を強くおすすめします。
 - バッテリーおよびチャージャーを 30° C 以上の高温になる所や直射日光の当たる所に放置しないでください。



■ 操作方法

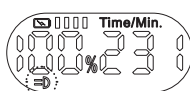


● ワイド光点灯



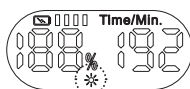
電源 / 調光ボタンを1回押すとワイド光が点灯し、ワイド光表示が点灯します。

● スポット光点灯

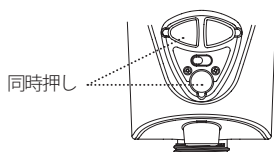


ワイド光が点灯している状態で、電源 / 調光ボタンを約1秒間長押しするとスポット光点灯に切り替わり、スポット光表示が点灯します。

● レッド光点灯



ワイド光またはスポット光が点灯している状態で、光量調節ボタン (-) と電源 / 調光ボタンを同時に約2秒間長押しするとレッド光点灯に切り替わり、レッド光表示が点灯します。



● 電源 / 調光ボタンによる調光

電源 / 調光ボタンを押すごとに、[25%] ⇒ [50%] ⇒ [75%] ⇒ [100%] の順で光量が切り替わります。

● 調光ボタンによる調光

光量調節ボタン (+) を1回押すと、1%刻みで光量が増加します。

また、ボタンを押し続けると100%まで早送りできます。

光量調節ボタン (-) を1回押すと、1%刻みで光量が減少します。

また、ボタンを押し続けると0%まで早送りできます。

●消灯

・ワイド光点灯時

電源 / 調光ボタンを約 2 秒間長押しすると、一瞬スポット光点灯に切り替わったのちに消灯します。

・スポット光点灯時

電源 / 調光ボタンを約 2 秒間長押しすると、一瞬ワイド光点灯に切り替わったのちに消灯します。

・レッド光点灯時

電源 / 調光ボタンを約 2 秒間長押しすると、一瞬ワイド光点灯に切り替わったのちに消灯します。

NOTE 本製品は、電源 OFF 時の光量設定を記憶し、次の電源 ON 時に同じ光量で点灯するデフォルト機能を搭載しています。たとえば 50% 調光の状態でも消灯すると、次に電源を入れた際も同じ 50% の光量で点灯します。
さらにワイド光、スポット光、レッド光で違った光量に設定していても、それぞれの光量設定を記憶します。また、電源 ON 時も消灯時と同じモードで点灯します。

●電源ロック

電源ロックレバーを右側にスライドさせると電源 / 調光ボタンがロックされます。不用意な誤点灯を防止することができます。

■ ストロボ自動消灯モード

ストロボの発光を感知すると、自動消灯し、1 秒後、自動点灯します。

・ワイド光の場合

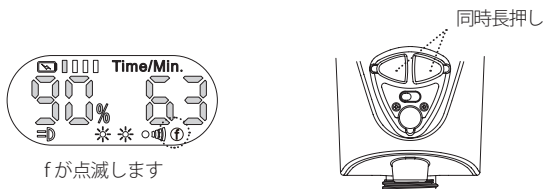
ワイド光の点灯状態より、光量調節ボタン (+) (-) を同時に約 2 秒間押しすると、ストロボ自動消灯モードに切り替わります。

・スポット光の場合

スポット光の点灯状態より、光量調節ボタン (+) (-) を同時に約 2 秒間押しすると、ストロボ自動消灯モードに切り替わります。

・レッド光の場合

レッド光の点灯状態より、光量調節ボタン (+) (-) を同時に約 2 秒間押しすると、ストロボ自動消灯モードに切り替わります。

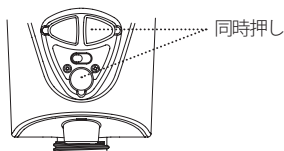
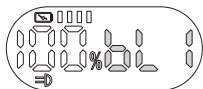


NOTE 撮影条件によっては、ライトの反射により、ストロボ光自動消灯モードが反応してしまう場合があります。その際は、光量をさげるなどしてご使用ください。

●点滅シグナルモード

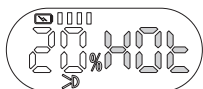
点灯している状態で、光量調節ボタン（+）と電源 / 調光ボタンを約 2 秒間長押しすると、点滅シグナルモードで発光します。

再度、光量調節ボタン（+）と電源 / 調光ボタンを同時に約 1 秒間長押しすると、元の点灯状態に戻ります。



■高温時保護モード

使用中にライトヘッドが 55°C 以上になると自動的に保護モードへ移行し、光量を最大の 20% まで落とします。LCD パネルには高温状態を示す [Hot] が表示されます。高温時保護モードに切り替わった場合は、電源スイッチを OFF にし、ライトヘッドを冷却することをおすすめします。ライトヘッドはたいへん高温になっていますので、素手で触れないなど取扱には十分ご注意ください。温度が 45°C 以下まで下がると再び通常モードへ復帰します。



- ⚠ 注意**
- 陸上にて本製品を使用する場合は、光量を 25% 以下に設定してください。
 - 陸上での使用環境によってはライトヘッドが高温になり、やけどをするおそれがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■セーフティモード

バッテリー残量が残りがずかになると自動的に 20% まで光量を落とし、バッテリー表示が点滅します。また、点灯残時間 [10min] が表示され、カウントダウンを開始します。セーフティモードに移行すると光量調節はできません。

- ⚠ 注意**
- セーフティモードに移行後は、安全のため、速やかに浮上するようにしてください。
 - LCD パネルに表示される残点灯時間は、バッテリーのコンディションや周囲の水温などの使用環境により、実際の点灯時間と誤差が生じる場合があります。

仕様変更について

本製品は、ライトヘッドの換装が可能です。不明な点はカスタマーサービスまでお問合せください。

● FIX NEO ライトヘッド／ボディ機能互換

	ライトヘッド											
	単一光ワイド (4030 以外)			SWR / SW			4030			SWRFS		
	通常点灯	EF モード	リモコン	通常点灯	EF モード	リモコン	通常点灯	EF モード	リモコン	通常点灯	EF モード	リモコン
EF II (黄ロゴ)	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
DX II (青・リア黄ロゴ)	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
DX II (青ロゴ)	○	×	○	○	×	○	○	×	○	△	×	○
DX II (白ロゴ)	○	×	○	○	×	○	△	×	○	△	×	○
DX (旧)	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○

○：使用可能。△：プログラムの書き換えまたは基板交換が必要。(一部アップグレードが必要な場合があります)

ライトヘッド換装後は、以下の手順でプログラムを切り替えてください。

※弊社にて換装作業を実施した製品は出荷時に切り替え済みです。

1. 電源 OFF の状態で、電源 / 調光ボタンを約 10 秒間長押しします。
2. LCD パネルに [SET] が点滅し、数秒後、既存のライトヘッドの仕様表示が点滅します。
3. 光量調節ボタン (+ / -) を押して、交換したライトヘッドの表示に切り替えます。
4. ライトヘッドの仕様表示で、電源 / 調光ボタンを押すと、プログラムの切り替えが確定します。

● FIX NEO 仕様表示

表示	LCD	FIX NEO
403		Premium 4030
30F		Premium 3000 DX SWRII FS
300		3000 DX II, 3000 DX
250		2500 DX, Premium 2200 DX II, Premium 2200 DX
200		2000 DX
15F		Premium 1500 DX SWRII FS
15S		Premium 1500 DX SWRII, 1500 DX SWRII, 1500 DX SWRII
120		1200 DX S, 1200 DX
SW		Premium 1000 DX SWRII, 1000 DX SWRII, 1000 DX SWRII, 1200 DX SWRII, 1200 DX SWRII
BLU		1200 DX BLUE
80		NEO 800 DX

NOTE

- 本製品のライトヘッドは『NEO ボディ EF II』に取り付けても起動しません。
- 使用中に誤って電源 / 調光ボタンを長押ししてしまった場合は、もう一度電源 / 調光ボタンを押すと元に戻ります。

メンテナンス

○リングのメンテナンス

FIX NEO ライトは専用の○リングによって防水機能を維持しています。本体とライトヘッドとの間の2本の○リングは、ユーザーによるメンテナンスが必要です。長期間で使用されない場合は、○リングに付属のシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。また、○リングは1年毎に交換されることをおすすめします。

⚠ 注意

- ○リングを外す際は、絶対に金属製の鋭利なもの（はさみやナイフ）を使わず、付属の「○リングリムーバー」をご使用ください。
- ○リングの摩擦や劣化を防ぐため、○リングの表面に付属の○リンググリスを薄く塗布（グリスアップ）します。その際、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、○リンググリスが多すぎると、かえってゴミやホコリが付きやすくなりますのでご注意ください。
- ○リング面に小さな傷やひび割れなどがある場合は、絶対に使用せず、すぐにスペアの○リングに交換してください。
- ○リング溝、○リング接触面にも、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。また、傷やひびなどがないかもしっかり確認してください。
- ○リング溝に○リングを装着する際、○リングがねじれたり、はみだしたりしないようにご注意ください。
- ○リングや○リング溝のチェック、グリスアップなどは、ボディの開閉ごとを実施してください。

浸水テスト

本製品の使用前に、浸水テストの実施をおすすめします。水を張った洗い桶や洗面器などに、本製品を水平を保ったまま浸してください。3秒で一度、30秒で一度、3分間で一度、水から取り出して本体ケースを開け、内部に浸水がないことを確認してください。

■ 使用後のメンテナンス

1. 使用後は、ライト本体をおよそ10～20分程度、真水に浸けておいてください。また真水の中で、電源 / 調光ボタン、光量調節ボタンを数回押して、ボタンの周囲についた塩分を洗い流してください。

NOTE 別売りの『FIX メンテナンスキット』に含まれる、塩害防止剤『ソルトアウェイ』をご使用いただく一層効果的です。

注意 海水でご使用后、そのまま放置すると細かいすき間などに塩分が残り、乾燥するとその塩分が結晶となり水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は時にOリングを押し上げ、浸水の原因になりますので、必ず真水に浸けて塩分を洗い流してください。

2. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
3. 水洗い後は、乾いた柔らかい布などで水気をよく拭き取ってください。直射日光による乾燥、ドライヤーやストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
4. ご使用後は、Oリングにシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。
5. 長時間で使用されない場合は、高温多湿、直射日光、極端に気温が下がる場所を避けて保管してください。
6. アルコールやシンナー、ベンジンなどの有機系溶剤や中性洗剤は、変形や破損の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

■ もしも浸水した場合

本製品は、万一、本体内部に浸水してもダメージが最小限で抑えられる構造になっていますが、浸水を確認した場合や浸水が疑われる場合は、速やかに本製品の使用を中止し、弊社カスタマーサービス (Tel.03-5988-0191) までご連絡ください。

■ オーバーホール

本製品の使用回数に関わらず、1年から2年に一度の定期的なオーバーホールをおすすめします。製品内部にユーザー自身では交換できない防水パーツを使用しています。これらを定期的に交換・メンテナンスすることで浸水事故を防止し、製品寿命を延ばすこととなります。一定期間が経過した製品は、ぜひ弊社カスタマーサービスまでオーバーホールをご依頼ください。

■ Contents

<Introduction>

- Safety.....	17
- Features & Specifications.....	19
- Name of parts.....	20

<How to use>

- Installation of attachments.....	21
- Installation of battery.....	21
- Charging method for battery.....	22
- How to operate.....	24
- Automatic shut-off mode.....	25
- High temperature protection mode.....	26
- Safety mode.....	26
- Specification change.....	27

<Maintenance>

- O-ring.....	28
- Pre-dive.....	28
- Care and storage.....	29
- In case of flooding.....	29
- Service.....	29




- The contents of this manual are subject to change without prior notification.
- If you find errors, omissions, misprints or any unclear parts in the contents of this manual, please contact Fisheye or your local supplier.
- This manual may not be reproduced or copied in whole or part for any reason except personal use.

Introduction

- Please read this entire manual before use.
- Improper use may result in permanent unreparable damage.
- When using, please perform inspections and tests following this manual.
- Fisheye is not responsible for any accidents resulting from the use, disassembly, modification, or repairs of this product. Fisheye assumes no responsibility for any physical, material, or consequential damage from the use of this product neither specified or implied.

Safety

Where the following icons appear, they indicate a particular situational hazard. Pay particularly close attention to the instructions given where these icons appear.

-  **DANGER** Failure to observe the precautions indicated by this symbol may result in death or serious injury.
-  **WARNING** Failure to observe the precautions indicated by this symbol could result in death or serious injury.
-  **CAUTION** Failure to observe the precautions indicated by this symbol may result in injury or property damage.

DANGER

- Do not attempt to attach connections of the battery with metal plates or wires. Doing so may cause electrocution or fire.
- Do not modify or disassemble this product. Doing so may cause thermal hazard or fire.
- Always bring a back up light source in case the battery depletes unexpectedly during night dives or penetration environments. Failure of the light due to battery depletion etc. may cause panic.

WARNING

- Do not store this product in a location where children or untrained people may mishandle it.
- Do not store the product with the battery installed to prevent battery off gassing or leakage that may be harmful to the human body.
- Do not shine the light directly into your eyes or other person's eyes. Doing so may cause blindness or permanent eye damage.
- Do not turn on the light with the light head in direct contact with a surface such as a floor or table, do not operate the light near any flammable material as it may cause fire.
- Use only the manufacture's battery and charger with this system. Alternate or third party battery charging may cause dangerous conditions such as gas outbreak.
- Do not touch the battery or charger with wet hands as it may cause electrocution. Handle the battery with dry hands.

 **CAUTION**

- This product is designed to be used to the depth of 100 meters (330 ft.). Use of this product at greater depths or impact or pressure change even at shallower depths may cause damage or flooding.
- Read this manual thoroughly to prevent accidental misuse, water intrusion or damage. Perform inspections and maintenance before and after each use of this product.
- Do not place or store this product in extreme high or low temperatures. Heat or temperature changes may warp the sealing surfaces and cause the light to flood or prematurely deteriorate O-rings.
- Do not open or attempt to seal the light in environments where an excess of sand, lint, dust etc. are present. These elements and other free floating bodies may breach O-ring sealing surfaces and cause the light to flood or other components to fail to function properly.
- We recommend removing the main O-ring when flying. Due to altitude pressure differential, if the O-ring is not removed, the light head may become impossible or difficult to open without damaging the unit.
- If this product produces an unusual noise or emits any odor or smoke, remove the battery and contact your local dealer for repair.
- In the event of flooding, turn off the power immediately and remove the battery. Use caution when handling the battery to avoid electrocution.
- Never use any organic solvents such as alcohol, benzene or thinner as they may deform the sealing surfaces of the light.
- In the event of flooding, stop using immediately. Use caution when opening a flooded light. pressure may build up inside the light causing the light head to eject from the light body once the light head is loosened.

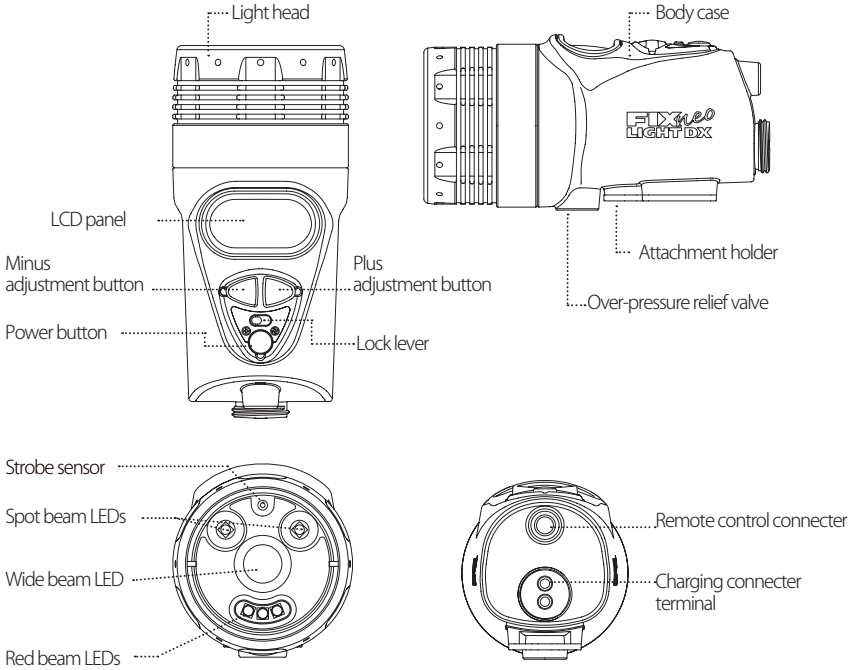
Features & Specifications

- Switchable Wide, Spot and Red beams.
- Warm color reproduction with wide beam high color rendering index Ra98 LED.
- 4 levels of luminous power adjustable through power button only.
- Automatic shut-off mode preventing uneven exposure and color cast
- Adjustment buttons can fine tune brightness from 1-100%.
- Removable, compact battery. The FIX light batteries are approved for airline travel.
- Operational information displayed on an easy to read color LCD panel.
- Built-in over-pressure relief valve.
- High temperature protection mode to protect internal circuit board during high temperature use.
- Protective structure to obstruct water reaching internal circuit board even in the event of flooding.
- Pre-programmed Blink signal mode.
- Default function remembers the light output setting when the power is turned off.
- Supports remote control (option).

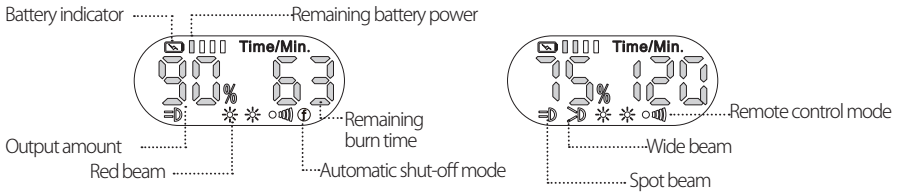
Product Name	FIX NEO Premium 3000DX SWRII FS
Luminous power	3000lm(Wide)/500lm(Spot)/250lm(Red)
Beam angle	100deg(Wide)/30deg(Spot)/100deg(Red)
Color temperature	5700K(Wide)/6000-6500K(Spot)
Color rendering index	Ra95(Wide)
Continuous burn time*	50mins(Wide)/360mins(Spot)/450mins(Red)
Usability in air	Unusable
Charge time	2.5hours
Battery capacity	3400mAh
Materials	Aluminum alloy, Reinforced resin
Depth rating	100m
Size	58dia x L132mm
Weight (in air)	380g
Weight (underwater)	130g
Color	Stealth Black/Frosted Silver
Bundled items	Li-ion Battery 3400L/NEO Charger/Charging Plug II/Charging Connector Cap II/NEO Gungrip/NEO YS Base/Ball Adapter/GoPro Adapter/Loc-Line Adapter/Wrist Lanyard/Spare O-ring/O-ring Remover/O-ring Grease/Allen Key/Lock Screw

* Excluding approx. 10 mins of Safety Mode.

Name of parts



LCD display



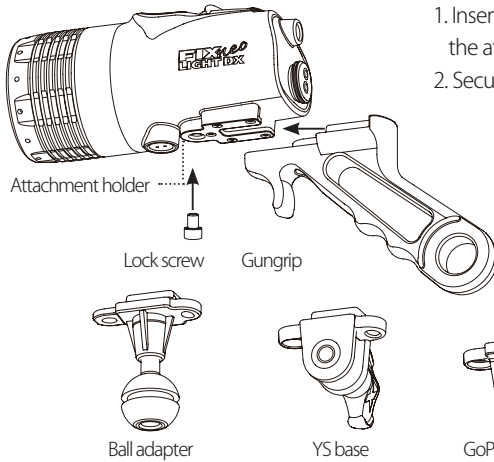
- Output amount The current output amount is displayed in increments of 1%.
- Remaining battery power The remaining battery power is displayed in 4 level bars.
- Remaining burn time The remaining burn time is displayed in real time.



The remaining burn time displayed in real time is an estimated value calculated from the remaining battery power and the current light amount output. Please note that the remaining burn time display may differ from the actual burn time due to the battery condition or circumstances such as surrounding water temperature.

How to use

Installation of attachments



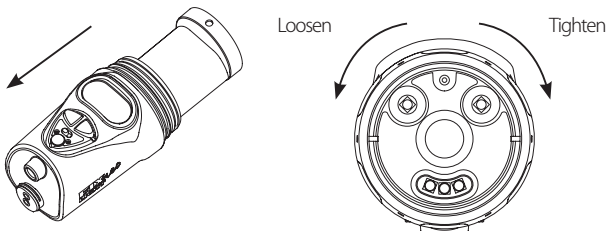
1. Insert the respective attachments by sliding into the attachment holder from the rear.
2. Secure the lock screw by Allen Key.

NOTE A wrist lanyard can be affixed to each attachment.

Installation of battery

1. Hold the body case firmly and remove the light head by rotating counter-clockwise.
2. Make sure there is no dirt or water on the metal terminals of the battery.
3. Install the battery into the case.
4. Hold the body case firmly and set the light head by rotating clockwise.

*Reverse the procedure to remove the battery.

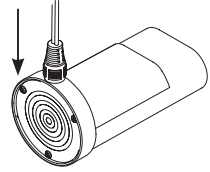


- WARNING** - Do not work with wet hands or under wet circumstances due to the risk of electrocution or damage.
- CAUTION** - Make sure no dust, sand etc. gets on the O-ring, O-ring groove or O-ring contact surface and grease the O-ring before setting the light head.
- Take care not to drop when uninstalling the battery. It may cause not only damage to the battery but also injury to the user.

■ Charging method for battery

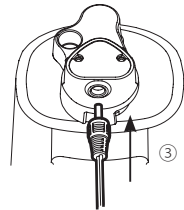
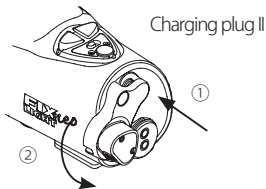
(1) Direct charge to the battery

1. Remove the battery from the light.
2. Insert the charger AC plug in a power outlet.
3. Ensure the charger LED turns green.
4. Attach the charger connector to the battery.
5. Ensure the LED turns red.
6. The LED will switch to green once charging is complete. (Charging time is 2.5 hours max)
7. Disconnect the connector from the battery.



(2) While the battery is installed the light

1. Insert Charging plug II into the remote control connector of the light. ①
2. Slide the Charging plug II counter-clockwise until it clicks. ②
3. Insert the charger AC plug in a power outlet and ensure the charger LED turns green.
4. Insert the charger connector to Charging plug II. ③
5. Ensure the charger LED switches to red.
6. The charger LED switches to green once charging is complete. (Charging time is 2.5 hours max)
7. Remove the connector from Charging plug II and remove the Charging plug II from the light.



NOTE The LED will remain green even when it is connected to the charger if the battery is fully charged.

**DANGER**

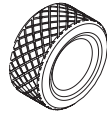
- Do not charge on paper, carpet or anything flammable as the battery and charger may become hot while recharging.
- Do not charge with coiled cables as heat build-up may result in fire.
- Do not handle with wet hands or charge under wet conditions to avoid electrocution.
- Do not charge any batteries that have been flooded, or are suspected of having water intrusion.

**WARNING**

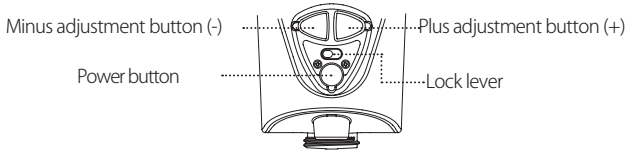
- Make sure there is no dirt or water on the charging connector terminal before charging. If there is any dirt or water, clean it thoroughly. It may cause not only damage to the product but the risk of electrocution.
- If the unit is recharged with the light head facing down, ensure the light is not switched on.
- Remove the Charging plug II promptly once charging is complete. Leaving the charger connected may result in shortage of the adaptor and fire.
- Do not use underwater while Charging plug II remains connected with the light. Charging plug II is NOT waterproof.
- The Charger is multi-volt compatible (100–240V), but using at a resort or on a cruise ship with in-house power generation may cause highly unstable voltage output and result in damage to the charger. We recommend using a converter with a built-in safety circuit.

**CAUTION**

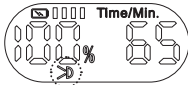
- Charge in a stable position to avoid the plug being disconnected from the charging connector due to vibration, impact shock or dropping.
- Leaving the charging connector plugged in may cause over-discharge rendering the battery unable to take a subsequent charge.
- The charging connector terminal of the light is waterproof but if seawater remains after use, it may cause corrosion.
- The Charging plug II cap protects and prevents water intrusion for the charging connector terminal. We strongly recommend attaching the Charging plug II cap while diving to protect the charging connector terminal from seawater.
- Do not leave the battery or charger in areas where the temperature could exceed 30° C (86° F) or in direct sunlight.



How to Operate



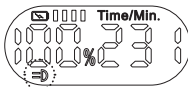
● Wide beam



Wide beam turned on

Pressing the power button once turns the Wide beam and Wide beam display on.

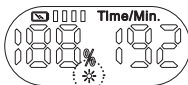
● Spot beam



Spot beam turned on

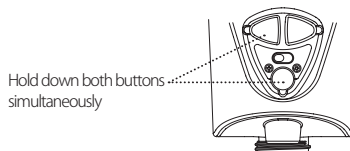
Holding down the power button for about 1 second while the Wide beam is on switches to the Spot beam and turns on the Spot beam display.

● Red beam



Red beam turned on

Holding down the minus(-) and power buttons simultaneously for about 2 seconds while the Wide or Spot beams are on switches to the Red beam and turns on the Red beam display.



● Output adjustment by power button

The output circulates in order of [25%] > [50%] > [75%] > [100%] each time the power button is pressed.

● Output adjustment by minus/plus adjustment buttons

Pressing the plus adjustment button (+) increases the output by increments of 1%. Hold down the button, to fast forward to 100%.

Pressing the minus adjustment button (-) decreases the output by increments of 1%. Hold down the button, to fast rewind to 0%.

● Turning-off

When Wide beam is on

Holding down the power button for about 2 seconds switches to Spot beam momentarily then turns off.

When Spot beam is on

Holding down the power button for about 2 seconds switches to Wide beam momentarily then turns off.

When Red beam is on

Holding down the power button for about 2 seconds switches to Wide beam momentarily then turns off.

NOTE This product has a default function to remember the luminous power setting when the power is turned off, and turns on at the same luminous power next time the power is turned on. For example, when it is turned off at 50% luminous power, the next time the power is turned on it turns on at 50% luminous power. Furthermore, when a different luminous power is set for Wide, Spot or Red beam, the respective luminous power is remembered. It turns on with the same mode as when turned off.

● Lock lever

Slide the power lock lever to the right to lock the power button. This prevents erroneous lighting.

● Automatic shut-off(ASO) mode

When the optical sensor detects a strobe light, it will turn off automatically, it will turn on automatically in 1 second.

• Wide beam

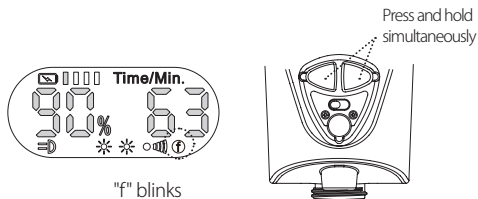
Holding down both adjustment buttons (+) (-) for about 2 seconds while Wide beam is turned on will switch to Automatic shut-off mode.

• Spot beam

Holding down both adjustment buttons (+) (-) for about 2 seconds, while Spot beam is turned on will switch to Automatic shut-off mode.

• Red beam

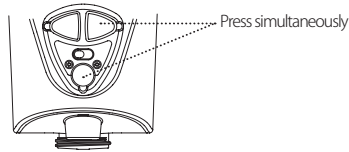
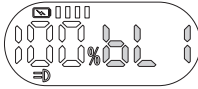
Holding down both adjustment buttons (+) (-) for about 2 seconds, while Red beam is turned on will switch to Automatic shut-off mode.



NOTE Depending on shooting conditions, the Automatic shut-off mode may react due to the reflection of the light. In that case, please reduce luminous power.

● Blink signal mode

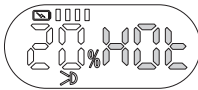
To turn on the Blink signal mode, hold down both the plus adjustment (+) and power buttons for about 2 seconds. To return to the previous state, hold down both the plus adjustment (+) and power buttons for about 1 second.



■ High temperature protection mode

If the light head reaches over 55° C (131° F), it automatically moves to protection mode and decreases the output to 20%. The [Hot] warning is displayed on the LCD panel. If this function engages, we recommend turning off the power and cooling down the light head. Use caution when handling such as not touching the light head with bare hands, as it may get extremely hot.

When the temperature drops below 45° C (113° F), it returns to normal mode.



- ⚠ CAUTION**
- Please set the output amount to 25% or less when you use in air.
 - Use caution when handling the light head in air as it may get extremely hot and cause burn injury.

■ Safety mode

When the battery power is almost depleted, the output automatically drops to 20% and the battery display will begin to blink. Remaining time [10min] will be displayed on the LCD and a countdown will start. Output adjustment is not possible when it has entered Safety mode.

- ⚠ CAUTION**
- After entering Safety mode, start surfacing immediately for your safety.
 - Please note the remaining burn time displayed on the LCD panel may differ from the actual burn time due to the battery condition or circumstances such as surrounding water temperature.

Specification change

It is possible to change the specifications of this product by replacing the light head. Please confirm compatibility on the following list and contact your local retailer.

● FIX NEO Light Head/Body Compatibility

	ライトヘッド											
	Mono Wide(except 4030)			SWR / SW			4030			SWR FS		
	Lighting	EF mode	Remote	Lighting	EF mode	Remote	Lighting	EF mode	Remote	Lighting	EF mode	Remote
EF II (Yellow logo)	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×
DX II (Blue/Yellow logo)	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○
DX II (Blue logo)	○	×	○	○	×	○	○	×	○	△	×	○
DX II (White logo)	○	×	○	○	×	○	△	×	○	△	×	○
DX (old)	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○

○ : Usable △ : Rewrite program or replace circuit board (may need upgrade)

After changing the light head, please change the NEO program as follows:

*Products where replacements were implemented by our company, have already been switched before being dispatched

1. Hold down the power button for approximately 10 seconds when power is off.
2. [SET] will blink on the LCD panel. After several seconds, the existing light head tag will blink.
3. Press the adjustment button (+/-) to choose the replaced light head tag.
4. Press the power button to confirm the program switch displayed on the light head tag.

● FIX NEO specifications

Tag	LCD	FIX NEO
403		Premium 4030
30F		Premium 3000 DX SWR II FS
300		3000 DX II, 3000 DX
250		2500 DX, Premium 2200 DX II, Premium 2200 DX
200		2000 DX
15F		Premium 1500 DX SWR II FS
15S		Premium 1500 DX SWR II, 1500 DX SWR II, 1500 DX SWR
120		1200 DX S, 1200 DX
SW		Premium 1000 DX SW II, 1000 DX SW II, 1000 DX SW, 1200 DX SW II, 1200 DX SW
BLU		1200 DX BLUE
80		NEO 800 DX

NOTE

- This product's light head does not activate even if it is attached to NEO Body EF II.
- If you hold down the power button by mistake while in use, press the power button again.

Maintenance

O-ring

The FIX NEO light maintains the waterproof function with exclusive O-rings. Two O-rings between the body and light head require user maintenance. If you do not use it for a long time, please apply a thin coat of bundled O-ring grease to the O-rings and store. We also recommend replacing the O-rings annually.

- CAUTION** - Use the bundled O-ring remover when you remove the O-rings. Do not use sharp metal tools such as the edge of scissors or a knife.
- Apply a thin coat of the bundled O-ring grease to prevent friction or deterioration of the O-rings. Make sure that there is no sand, small lint or hair. Be careful not to apply too much O-ring grease as it may attract more lint or dust.
 - Do not use if there are any small cuts or cracks on the O-ring surface. Replace with a spare O-ring immediately.
 - Make sure there is no sand, small lint or hair, on the O-ring groove or O-ring contact surface. Also make sure there are no scratches or cracks.
 - When you install the O-ring to the groove, make sure the O-ring is uniform with no twists or bulges.
 - Perform O-ring and O-ring groove checks and grease-up every time you open/close the body.

Pre-dive

We recommended performing a pre-dive leakage check before using this product. Horizontally submerge this product in a tub or bowl filled with water. Take the product out of the water at 3-second, 30-second and 3-minute intervals and open the light head to make sure there is no water inside.

Care and storage

1. After use, submerge the light in fresh water for about 10-20 minutes. Also, press power and adjustment buttons several times in fresh water to wash off any salt around the buttons.

NOTE It is even more effective if you use salt damage prevention solution SALT-AWAY which is included in the FIX maintenance kit (sold separately).

CAUTION If residual salt dries, it crystallizes and will not dissolve in water. The crystallized salt may push up the O-ring and causes flooding. Make sure to submerge in fresh water to wash off all the salt.

2. Rinse with slow flowing water after taking out of fresh water. Do not use high pressure water from one direction as it may cause flooding.
3. Wipe well with a soft dry cloth after washing with water. Do not dry in direct sunlight or with a dryer or stove as it may cause failure, deformation or damage.
4. After use, apply a thin coat of O-ring grease and store. We recommend replacing the O-ring annually.
5. If you do not use for a long time avoid areas with high temperature/humidity, direct sunlight and extreme low temperatures when storing.
6. Never use any organic solvents (alcohol, benzene, thinner etc.) or neutral detergents as it may cause deformation or damage.

In case of flooding

This product is structured to minimize damage even in the case of water intrusion, but if you recognize or suspect flooding, stop using immediately and contact your local retailer for service.

Service

Regular overhaul is recommended every 1-2 years, regardless of the frequency of use.

There are waterproof parts inside this product that cannot be replaced by users.

Exchanging and maintaining these parts regularly prevents flooding accidents and extends the product's life. Please ask our customer service for overhaul for products that have exceeded a certain period.